



会長挨拶 「協会創立100周年に向けて」

公益財団法人北海道サッカー協会
会 長 鈴 木 重 男

この度、公益財団法人北海道サッカー協会（HKFA）の会長に就任いたしました。今後2年間の当法人会長として、責任をもって、創立100年に向けた基盤づくりを進めたいと思っております。この新体制のもとにサッカーの普及・振興はもとより、広く道民の心身の健全な発達とスポーツ文化の一層の発展に寄与し、更なるサッカーファミリー拡大を目指し努力してまいります。

現在、スポーツ団体の在り方について社会的問題となっております。その原因は、公益財団法人として国民の税金を使用しているとの意識の低さからであると思っております。

公益財団法人北海道サッカー協会は、法令遵守を基盤として、キッズ年代からシニア年代まで幅広い年齢層で、かつ男女それぞれの特性に応じて、さらに障がいの有無にかかわらず、サッカーとフットサルを通じ、道民の皆様方の健康と体力を保持・増進させ、スポーツの振興に貢献し、豊かなスポーツ文化を醸成することをミッションとしています。

私は、2025プロジェクトを具現化する方向性を明確に定めたく考えております。具体的な取り組みとしては、

- ①「サッカーファミリー35万人」に係るミッション
- ② 道民チーム「北海道コンサドーレ札幌」に係るミッション
- ③ 道民チーム「エスポラーダ北海道」に係るミッション
- ④「日本代表・U-23代表選手の輩出」に係るミッション
- ⑤「北海道代表チームの全国上位進出」に係るミッション
- ⑥「なでしこリーグチームの加盟育成」に係るミッション
- ⑦「JFLチームの加盟育成」に係るミッション
- ⑧「スポーツ医学」に係るミッション
- ⑨「障がい者サッカー・フットサル」に係るミッション

の各ミッションを設定しております。

私は、業務内容を精査するとともに、「HKFA」ビジョンを見直し、より時代の要請に応え、確実に推進するマネジメントサイクルを確立します。

また、協会創立90年の歴史を生かし、サッカーの普及等に汗した多くの先人への感謝の念を心根に持ち、100周年に向けた新たな北海道サッカー協会の体制を整えます。

さらに、2025プロジェクトの完全履行と、次の2035プロジェクトに向けた新たな夢・希望を年代につなげるため、15地区サッカー協会等とのより密接な連動・協働とともに、運営組織の充実・協会を図ります。

私は、各地区サッカー協会及び各サッカー連盟の皆様、またサッカーファミリーの皆さん方と共に一丸となって、北海道サッカーを盛り上げていきたいと決意しています。